

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	保育所建設事業(座光寺保育所)			財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	保健福祉部	課等名	児童課	内線	5340					
政策体系上の位置付け	政策	元気な子供が育つ地育力のあるまちづくり		関連計画、条例等	飯田市保育所設置条例					
	施策	子育ての楽しさを実感できる環境づくり								
	基本事業									
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続							
事業期間	15年度	~	16年度	環境調整会議の必要性	あり					

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを旨とします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	・座光寺地区とその周辺の就学前児童 ・座光寺保育園、大堤保育園に通っている児童とその保護者	座光寺地区の就学前児童の数	当初(15)		17年度	280
16年度						
座光寺保育園、大堤保育園に通っている児童の数(17計画 統合保育園)		当初(15)		17年度	101	
		16年度	100			
意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)				
・安全で良好な施設で保育を行うこと。 ・未満児(0~2歳)、延長保育(2時間程度)を実現する。 ・児童数にみあった適正な定員の施設として整備する。	未満児保育、延長保育の受入人数/希望人数 (%)...開園後は100%	当初実績(15)		最終目標		
		16目標	40	16実績	100	
	17目標	100				
	座光寺地区の入所希望と、他地区の保育園に通っている児童の数に見合った定員	当初実績(15)		最終目標		
16目標		120	16実績	120		
17目標		120				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容 (やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		・昭和49年建築の座光寺保育園の老朽化が激しいため全面改築を行う。 ・改築に当たり、最近の園児の状況及び今後の保育需要を考慮し、同じ座光寺地区内の大堤保育園と統合して、同地区の中段(座光寺小学校隣り)に移転改築するもの。敷地面積(駐車場含め6,063㎡)建物面積(1405㎡)を予定。 ・定員は120人とし、新たに0歳児保育、延長保育を実施する。	・補助金交付申請 ・新保育園の建設(16.6造成着手 16.8着工 17.5竣工予定) ・座光寺保育園解体(17.7以降)及び大堤保育園の後利用の検討 ・座光寺保育園敷地売却の試算 ・新保育園周辺の通園路整備が必要になるが、別途土木課の道路整備計画で対応する。 ・16年度に予定していた国庫の補助金の一部が、16年度の繰越明許になり、開園が17.4から17.6(予定)となった。	建物についての説明会等の開催
・補助金交付申請 ・保育事業の統合・移転 ・座光寺保育園の解体 ・座光寺保育園跡地及び大堤保育園の後利用の検討				

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額
事業費	特定国庫支出金	59,227	84,610	0
	特定県支出金	29,613	42,304	0
	財源起債	150,000	219,000	0
	その他	1,300	0	0
	一般財源	65,091	32,924	0
	事業費計(A)	305,231	378,838	0
人件費	正規職員所要時間	2,000	700	200
	臨時職員等所要時間			
	人件費計(B)	7,040	2,464	704
	トータルコスト A+B	312,271	381,302	704

特定財源内訳
 社会福祉施設整備事業 国2/4(59,227千円) 県1/4(29,613千円)
 厚生福祉施設整備事業債(充当率80%だが、事業費計(A)には起債対象外経費も含まれるため、計算上70%とする)

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・子どもが健やかに成長できる良好な環境ができる。 ・仕事と子育ての両立支援が出来る。	統合後の保育園に満足している保護者数/統合後の保育園の保護者数 (%)...開園後は100%	16目標	70	16実績	100
17目標			100			
16目標			16実績			
		17目標				

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・建設後30年を経過し、老朽化した座光寺保育園を全面改築する。	・老朽化(昭和49年建築)した座光寺保育園の全面改築を行い、安全な施設で多様化している保育ニーズに応えられるようにする必要が生じたため、14年度から検討を始めた。 ・地元からの提案もあり、大堤保育園と統合し、効率的な保育を行うこととする。	・座光寺地区では大堤保育園と座光寺保育園の2つの保育園があるが、昭和54年頃に比べると両園共に園児数は減少している。最近5年間は横ばい傾向にありこのまま推移すると思われる。 ・働く女性(保護者)が増加しており、未満児保育や延長保育の要望が多くなっている。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由) ・座光寺保育園の整備が終わったため		廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響なし (その理由)
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由) ・座光寺保育園の整備が終わったため		類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由) ・公立保育施設であるため		成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰か? 負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由) 受益者:なし(入所児童、保護者) 受益者負担:なし

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	座光寺保育園の整備が終わったため 時期(年度) <input type="text" value="16"/>	